

組織目標評価報告書（令和6年度）

部局名:

学域名:

部局長名:

大学院ヘルスシステム統合科学研究科

ヘルスシステム統合科学学域

横平徳美

目標・取組		目標・取組の達成状況(成果)及び新たに生じた課題等 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域 ○教育の「統合」の促進 ・研究科共通科目「統合科目」をより洗練させるために、学務委員会を中心にFDを実施しカリキュラムの見直しに取り組む。 ○入学志願者の増員(定員充足と入学者の質の担保) ・博士後期課程入学志願者を増やすために、O-NECUS協定校との双方向学位(ダブルディグリー)制度を整備し学术交流を促進する。 ・博士前後期課程の入学志願者を増やすために、国際部との連携のもとで海外向けの広報事業を展開する。	関連する 中期計画の番号 (2-1) (4-1)	教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等 ○教育の「統合」の促進 ・研究科共通科目「統合科目」である「ヘルスシステム統合科学序論」「ヘルスシステム統合科学総論」「先進病院実習」「実践ヘルスシステム統合科学」をより洗練させるためのFDを展開し、また新たな取り組みとしてPBL型共修授業の実施を行った。 ○入学志願者の増員(定員充足と入学者の質の担保) ・O-NECUS協定校との双方向学位制度を整備してまた学术交流を促進させることができた。また、カナダのケベック州高等研究所(INRS)との間で、博士後期課程のダブルディグリー制度について協議を開始し、令和7年度中の協定を目指す。 ・博士前期課程は定員充足率100%を達成したものの、博士後期課程はできなかった。研究科内人事の関係で、昨年度多くの工学系教員が異動したことが理由であるが、後任人事を積極的に進めており、今年度以降、この充足率は改善するものと考えられる。
	②研究領域 ○ヘルスシステムに関する科学の新たな流れを創造する先進的学問分野を開拓するために、統合科学による文理融合型研究プロジェクトやグローバル化プロジェクトの推進と文理融合型研究者支援を検討する。 ○研究者交流を推進し、強化すべき学術研究分野の国際共同研究数を増やすために、UNCTAD短期外国人研究者の積極的な受入や毎年開催している国際シンポジウム(ISFT: The International Symposium for Future Technology Creating Better Human Health and Society)の開催を通して、国際共同研究強化を行う。 ○若手・女性研究者自身が後輩たちの良きロールモデルとして実績を示すために、若手・女性研究者の積極的な雇用や論文数向上に向けた研究費支援を行う。 ○重点目標「科研費獲得率」及び「Q1ジャーナル掲載数」について、前者は75%、後者は対前年度比1.8%増を目標とする。 <研究科の系としての目標・取組> 該当無し。	関連する 中期計画の番号 (7-1) (8-1)
③社会貢献(診療を含む)領域		関連する 中期計画の番号 (6-1) (10-3)
	④管理運営領域	関連する 中期計画の番号 (1-1) (11-2)

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。